

震災からの復興と中小企業

日本中小企業学会会長 高田亮爾

2011年3月11日に発生しました東日本大震災において、国内観測史上最大の地震、それに伴う津波、さらに原子力発電所の事故等により、甚大な被害が発生致しました。震災で亡くなられた方々に対し、日本中小企業学会として、心より哀悼の意を表します。また、被害を受けられた多くの方々に対し、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を祈念申し上げます。

今回の東日本大震災は、日本の産業におけるサプライ・チェーンが、日本国内のみならず、世界の多くの企業とつながっていること、さらにこうしたサプライ・チェーンに多くの中小企業関わっていること等を再認識させました。それは、多くの中小企業が地域経済と深く関連しているのみならず、広く国民生活を支える存在であり、経済社会全体において、きわめて重要な役割を果たしていることを改めて知らしめたことでもあります。

日本中小企業学会としましても、こうした問題意識に基づき、震災からの復興、中小企業の復興・発展の方向性等の課題について、今後とも学会一丸となって取り組んでまいりたいと存じます。

会員各位からのご意見、ご提案も学会本部宛て、お寄せ頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上